

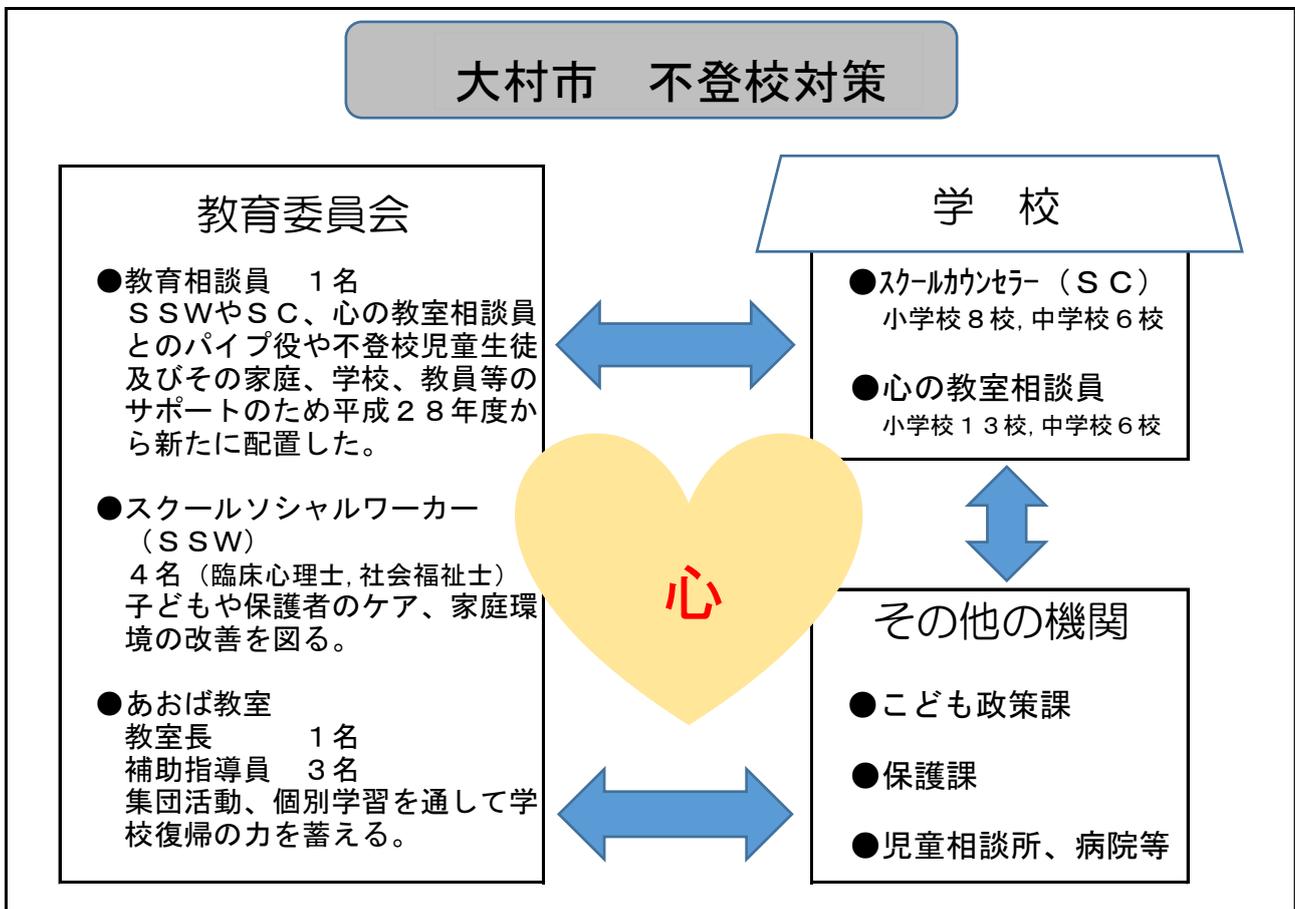
施策： 教育環境の充実

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 心の教室相談員配置事業	拡充	予算額	15,626 千円
			《 15,282 》
財源内訳		国庫支出金	千円
		県支出金	千円
		地方債	千円
		その他	千円
		一般財源	15,626 千円

**【事業の目的・概要・対象】**

大村市不登校対策の一環として実施し、児童生徒の気軽な相談相手として、市内の小・中学校に「心の教室相談員」を配置し、心に悩みを抱える児童生徒の相談体制を整えることで、児童生徒の心の安定を図る。



**【背景】**

19校に19名の相談員を配置 (H28相談件数…8,930件)  
4月と8月に年2回の研修会を実施している。  
スクールカウンセラー (SC) や教育相談員、SSW、関係機関と連携しながら児童生徒の相談等に応じている。

担当課	学校教育課	問合せ先	0957-53-4111 (内線366)
-----	-------	------	----------------------

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	相談員活用件数	目標値 件	8,930	6,000	6,000	6,000	6,000
②		目標値					

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	児童生徒の相談員の活用率 相談件数／全児童生徒数	目標値 %	97	90	90	90	90
②		目標値					

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費	14,225	14,246	15,119	15,282	15,626	15,626	90,124
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	71	92	61	60	99	99	482
一般財源	14,154	14,154	15,058	15,222	15,527	15,527	89,642
人件費	1,511	2,569	1,918	1,868	1,868	1,868	11,602
職員	0.20人	0.35人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人	1.55人
時間外勤務		50h	50h	25h	25h	25h	175h
嘱託員							0.00人
フルコスト	15,736	16,815	17,037	17,150	17,494	17,494	101,726

妥当性 (市の関与)	相談員の業務が、児童・生徒と直接ふれあいながら相談にあたるという特殊性を持っているため、市による人的配置支援は必要不可欠である。
有効性 (施策貢献度)	現在、教育委員会の重点施策として取り組んでいる大村市不登校対策を推進していく上で大きな原動力となる事業でもあり、相談員の活用率も高く、事業成果は高い。
効率性 (コスト)	現時点ではコスト削減の余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり